

令和4年度学校自己評価表（最終評価）

専門学校 倉敷ビューティーカレッジ

I 目指す学校像	小土井学園の理念「尽くす真心」のもと、地域美容の意義を理解し、美容業界に貢献できる学生を育成する学校を目指す。 (1)目標を明確化し、充実した学校生活を提供できる学校を目指す。 (2)地域社会との関係を強化し、地域社会に貢献できる人材を育成する。 (3)美容技術者として、お客様に喜ばれる戦力を備えた学生を育成する。	II 中期目標	(1)美容室オーナーが雇用したくなる基礎技術力・人間力を備えた学生を養成する。 (2)「ほめて伸ばす」指導をベースに学生の意欲を引き出し、自信を付ける指導を実践する。 (3)他校との差別化を図り、本校の特色を前面に出し、定員の充足を目指す。	III 重点目標	(1)最重要業務－学生募集 美容科学年2クラス (2)指導の重点 ①「ほめ美」の実践 ②仕事に直結する4つの指導 (3) 独自の高品質カリキュラムの確立 (4)就職活動の充実
----------	---	---------	--	----------	--

評価項目	具体的項目	現 状	具体的目標	具体的方策	経過・達成状況	評 価	改善方策
1 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・業界関係・保護者等に周知されているか。	年度当初に教職員・学生に具体的な実践目標を配布している。また学生便覧を配布し説明を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標等の徹底を図る。 ・学校生活全般で意識させる。 ・関係業界や保護者に周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室掲示を継続する。 ・年2回の学生に対するアンケートの実施を継続し、その結果を学生に返して周知する。 ・保護者会やKBC新聞等で周知を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大体周知はされているが、個人差がある。 ・学生、教職員アンケートは昨年度より評価が下がっている。 	A	学生のオリエンテーション、保護者説明会、企業ガイダンス等の機会を使い、周知を推進する。
2 学校運営	目的等に沿った学校運営・事業計画が策定されているか。	運営方針・事業計画は策定されているが、教職員の共通実践には至っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員会議等で教職員の学校運営等の意識の高揚を図る。 ・非常勤講師への周知と共通理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員会議の議題に上げて周知を図り、共通実践ができるようにする。 ・年度当初の非常勤会議で協力をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営への意識は向上しているが、個人差がある。 ・ホームページの「お知らせ欄」や「KBCニュース」の更新をしっかりと、学校の活動を発信している。 	A	学校の教育活動をホームページやタイムラインで今以上に発信していく。
3 教育活動	美容業界の企業・団体との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	10月の教育課程編成委員会でご提言をいただき、3月の委員会で決定。次年度に向けてのご意見をいただいている。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成委員会のご意見をしっかりと反映させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい説明を心掛ける。 ・委員の方々が発言しやすい雰囲気づくりを心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までに委員会等でいただいた意見を取り入れて実施している。 ・各種検定の合格率も向上している。 	B	年間計画を見直し、授業時間の確保と教育活動の効率化を図り、実習の成果やコンクール等の成果を上げていく。
4 学修成果	就職率の向上に対する方策が図られているか。	毎年ほぼ100%の就職率である。後援会サロンをはじめ計画的に就職ガイダンスを実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より、就職に対する意識を持たせる指導を心掛け、個別面談を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美容科の就職は岡山県内26名、広島県内5名、東京都1名、兵庫県1名、京都府1名であった。 ・卒業は39名である。 ・退学者が気になる。 	B	就職先の選定等は後援会サロンの協力もいただきながら充実させる。また、家庭との連携を図り、中途での進路変更を防ぎ、学習の深化を目指す。
5 学生支援	就職相談等、学生支援体制は整備されているか。	1年次3月に就職ガイダンスを実施し2年生になり、担任との個人面談で決定している。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より就職意識を持たせる指導を心掛ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職状況は順調である。 ・ビューティー専科の就職がコロナの関係もあり、求人が少なくなっている。 ・同窓会新聞を発行している。 	B	奨学生度の理解をより一層図り、入学後の家庭環境の変化や経済状況の変化に対応できるよう心掛ける。
6 教育環境	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	現状では十分対応できているが、20年が経過し、施設・設備の改修が必要である。外壁塗装は完了した。	<ul style="list-style-type: none"> ・創立20周年を迎え、必要な施設・設備は順次改修していく。 ・令和4年7月に新館完成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の意見や現場のサロンの意見を聞くように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの改修なども年次計画で進めていく。 	B	年次計画を立て、予算化して進めていく。
7 学生募集	学生募集は適正に行われているか。学納金は妥当なものになっているか。	教員による高校訪問(78校)を年間6回～7回実施。高校ガイダンスへの参加を年間50校している。またメディア等での広告も各種掲載している。	<ul style="list-style-type: none"> ・美容科50名以上 合計100名以上の入学を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・常に学校の魅力づくりとその発信に心掛ける。 ・ガイダンスへの積極的参加。 ・オープンキャンパスの充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度からは、美容師養成科は2コース体制（ヘアスタイリストコース・プロアイラストコース）になり、2クラス体制になる。 	B	常に先を見通した商品開発をし、選んでいただける学校創りや魅力づくりをしていく。
8 財務	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	良好な状態でコントロールされている。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務関係は良好な状態でコントロールされている。 	A	無駄な経費削減と選択と集中により、より効果的な予算執行を図る。また財務諸表はホームページで公開をする。
9 法令等の順守	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	「学校法人小土井学園 個人情報保護方針」の規定がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と大きな変化はない。 	A	アンケート調査を継続的に実施し、実態把握に努める。
10 社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	学校施設を利用した社会貢献・地域貢献はほとんどできていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような社会貢献ができるかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・続くコロナ禍の中で思うような活動ができていないのが現状である。 	B	今後は地域のイベント等にも積極的に参加し、学生の社会貢献の意識向上を目指したい。
学生ボランティア活動を奨励、支援しているか。	地域の一斉清掃や老人福祉施設を訪問してのネイルやメイクのボランティア活動を毎年実施しているが、本年度はコロナの関係ですべて中止とした。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ後のボランティアに積極的に参加する。 ・個人的なボランティアも奨励する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域へのアピールを意識して行う。 				

評価基準 A：十分達成【80%以上】 B：概ね達成【60%程度】 C：まだ不十分【40%程度】 D：目標・方策の見直し【30%以下】